

令和8年度 松江市立菅田会館運営審議会議事録

1. 開催日時 令和8年7月21日（火）15時00分から16時10分まで
2. 開催場所 松江市立菅田会館
3. 出席者 委員（8名）
江口博晴、和田謙一、原陽子、山本栄、山本久
石橋信子、木村朱実、山本恭治
松江市（5名）
桑原賢司、高宮久美子、野津忠宏、門脇八恵、板持努
菅田会館（3名）
吉田徳人、山本さなえ、赤山智恵
4. 会長あいさつ（江口会長）
5. 市民部長あいさつ（桑原松江市市民部長）
6. 委嘱状交付
7. 自己紹介
8. 審議会の成立
委員10名中、8名の出席により審議会が成立していることを報告した。
9. 議長選任
会長が議長を務めることを確認した。
10. 議事録署名人の選任
議事録署名人には原委員、山本恭治委員を選任した。
11. 情報公開について
松江市情報公開条例第30条に基づき、審議会の議事録は公開とすることを周知した。

1 2. 議事

- (1) 令和7年度菅田会館事業報告
- (2) 令和8年度菅田会館運営方針(案)
- (3) 令和8年度菅田会館事業計画(案)

1 3. 審議の経過

- (1) 令和7年度菅田会館事業報告

昨年度の活動状況についてスライドを用いながら資料に基づき説明を行った。

【質疑・意見】

(委員)

菅田会館は以前4人体制の職員だったですけど、現在は3人で、少数精鋭でやっておられるなど常日頃から思っています。特に最近ではいろんな考えを出されまして、ベビーマッサージとか暖談喫茶とかこんな考えがあるんだなということで、昔は隣保館で人権問題は同和問題で一点に集中しておりましたし、最近はこういうことまでやってるんだなということで、特に地区外との交流もできるようになったことは非常に喜ばしいことではないかと思います。令和7年度の報告を聞きまして非常にうれしく感じました。そういう感じたことを話させていただきました。

(会館)

貴重なご意見ありがとうございます。菅田会館としてもいろいろな事業をいろいろな世代の方、それから地域のニーズに沿った事業を展開したいと日頃から考えています。また住民の皆さんからいろいろなニーズとか、考えとか、思い、願いを聞いて、それをなるべく事業に反映していきたいと常日頃から考えています。

事業計画のときにもお話しますが、事業でのアンケートとか聞き取りとか、それから連絡会とか、そういう機会を設けて、町民の方々の思いとか願いを聞きながら、それに応えるような事業を展開していきたいと考えていますので、ご意見等よろしく願いいたします。

(委員)

去年大雪があったときですね、地権者の人にお問い合わせをしたんですけど、動いてもらえなかった、ということがありまして、それを菅田会館の館長、職員の皆さんに相談したところ、何とかできました。そういう関係でいろいろお世話になっておるんですけど、最近は災害のことでちょっとお願いをしております。一度町内としてもアンケートを出して、いろいろ回答をしてもらって、その中でいろいろな意見とかを挙げてもらったんですけど、そういうことを踏まえて災害時の避難場所を、納骨堂がありますけど、納骨堂に西菅田は分散をしたいという、そういうことを話しまして、それから館長に市役所にか

合ってみるということを聞きまして一安心したという次第です。以上です。

上述以外の質疑・意見なく、委員の承認を得た。

(2) 令和8年度菅田会館運営方針(案)

(3) 令和8年度菅田会館事業計画(案)

関連があるので一括して資料に基づき説明を行った。

【質疑・意見】

(委員)

説明ありがとうございました。また、職員さんの仕事を増やすようではすけれども。この上にまだやるかいうふうな考えがあるかもしれませんが、菅田まちづくり会、あるいは両町内と一緒に防災、あの以前もやってもらってます。防災ということ意識して、今年の1月6日にも地震がありました。またないとも限りません。防災について、両町内を含めて考えていただく時間を作っていただければと思います。

たくさんある中で申し訳ないですけど、そういうこともやっぱり、人権に関する悉皆ではないかと私は思っていますけれど、よろしくご検討のほどお願いいたします。

(会館)

貴重なご意見ありがとうございます。本館としても、防災については、非常に大切な提案だと思っています。町内会と連携して避難のマニュアルとか、そういうことを日頃から考えておくこと。それから日頃からの町内での隣同士、お向かいさん同士、日常での関わりというものをとても大切だと思っています。そういうところから、日頃からお互いが気にしてみるような関係づくり、そういうことも大切だなと考えています。

1月の地震とか大雪でもちょっと考えさせられたのですが、今高齢者とか、高齢者世帯とか独居世帯とか、それから避難に不安を抱えている方、たくさんおられます。どうやったら皆が安心して、不測の事態が生じたときに安心安全なまちづくり、防災の組織ができるかということ非常に大切なことだと思うので、また会館としても、町内と連携しながら、また市とも連携しながら、いろいろご支援いただきながら考えていきたいなと思っています。どうもありがとうございました。

(委員)

今館長さんをお願いしていることがありまして、災害のときに菅田会館は支援がくると、支援はくるのはいいんですけど、ここだけでは手狭になるということで、町内は納骨堂を一時避難場所にしたいなと思っております。そのときに同じような支援が得られるのかな、という不安がありまして、そこんところうまく会館の方で取り計らってもらえるようお願いしているところです。

(会館)

その点について市ともいろいろ連絡調整を行っているところです。今度9月2日に納骨堂の、市との連絡会があります。その時に、市の方からも答えが得られると思います。今、菅田会館は指定避難場所になっていて、これは問題ないのですが、納骨堂となると自主避難先という形になるので、でも松江市が管理している。そういうところもなかなか考えないといけない。それを市とどうすればよいのかというのを今探っていますので、また9月によろしくお願いします。以上です。

上述以外の質疑・意見なく、委員の承認を得た。

14. 閉会あいさつ（和田副会長）